地学 Sheets

北海道各地から産出する黒曜石
その44

置戸地域～露頭写真～ （Oketo Area）

写真1 置戸山Aの露頭. 訓子府川林道では人頭大程の黒曜石を採取可能. ここでは置戸Ⅰ組成グループの黒曜石を採取可能.

写真2 置戸山A. 角礫状の黒曜石が多数埋まっている. 他に赤～オレンジ色を呈する黒曜石(花十勝)も採取可能である.

写真3 墓地の沢B. この林道の露頭では所山黒曜石(置戸Ⅱ組成グループ)を多数採取可能. 所山でも黒曜石を採取可能である.

写真4 墓地の沢B. この周辺の露頭では黒曜石(写真中央上)を容易に採取可能であり、地層中に数多く含まれる.

写真5 置戸山Aで採取. 黒色と灰色の縞状を呈すること、独特の光沢が置戸産を特徴づける. 貝殻状断口. 石器の石材として良質.

写真6 置戸の火砕流堆積物. 白色で細粒の火山灰から構成される. 墓地の沢川から峠を越えた温根湯側の露頭.

写真7 中里Aの露頭. 置戸Ⅰ・Ⅱ組成グループがあり、置戸山黒曜石と所山黒曜石が噴出後に火砕流に巻き込まれた証拠となる.

写真8 中里A. 勝山溶結凝灰岩から0.5～2㎝前後の黒曜石を採取. 中里周辺には、大量に含まれると考えられる.

Mukai Masayuki
（学芸員 向井 正幸）

地学シートHP

旭川市博物館HP

ASAHIKAWA CITY

地学Sheets
Asahikawa City Museum

2026.7.31発行